

## 第4回草津市総合計画審議会 会議録

### ■日時：

平成28年11月11日（金）10時00分～11時30分

### ■場所：

草津市役所 8階大会議室

### ■出席委員：

石本委員、伊藤委員、喜田委員、北村委員、肥塚委員、小林委員、清水委員、大東委員  
高内委員、田中委員、西村委員、三尾委員、森本委員、山口委員  
※大道委員の関係人として滋賀銀行星野忠夫草津支店長が出席

### ■欠席委員：

相澤委員、大道委員、塚口委員、中委員

### ■事務局：

総合政策部	山本部長、岡野副部長
総務部	田中副部長
まちづくり協働部	長副部長
環境経済部	松下副部長
健康福祉部	西副部長
子ども家庭部	平尾副部長
都市計画部	門地副部長（総括代理）
建設部	寺西副部長
上下水道部	辻川副部長（総括代理）
教育委員会事務局	居川副部長
企画調整課	南川課長、有村副参事、中井主任、直井主任

### ■傍聴者：

なし

## 1. 開会

### ●開会にあたって（山本総合政策部長）

本日は第4回総合計画審議会を開催いたしましたところ、大変お忙しい中御出席をいただきまして厚く御礼申し上げます。また、日頃は市政全般にわたりまして御支援、御協力をいただきましてありがとうございます。

さて、昨年度実施されました国勢調査の確定値が公表されたところでございますが、全国的に少子化等で人口減少が進むなか、本市におきましては、住宅なり共同住宅等の開発に伴ってまだまだ人口の流入が続いており、昨年度策定しました、草津市人口ビジョンに

において、およそ 10 年後から人口減少が想定されるなかで、今、総合計画の御審議を進めさせていただいているところでございます。

審議会につきましては、今年度 3 回開催いただき、第 3 期基本計画における、施策などの体系、リーディング・プロジェクト、分野別の施策など、将来にわたって魅力あふれ、持続可能なまちを具現化するためのまちづくりの指針として、この計画の集約をいただいているところでございます。

本日は、基本計画の最終案を答申としてとりまとめいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく御審議をいただきますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

●事務局

草津市総合計画審議会設置条例施行規則第 5 条第 2 項に基づき、半数要件を満たしており審議会が成立していることを報告。

## 2. 審議

---

### (1) 第 5 次総合計画第 3 期基本計画（案）について

●事務局

<資料 1 について説明>

●会長 12 月に意識調査を行い、年明けに市議会で議決をとって、年度末までに取りまとめるスケジュールとのことだが、議決を取る際に調査結果の数値が変わる可能性はあるのか。また、現状では調査結果の数値が 27 年、29 年、30 年と、平成 28 年の数値だけが抜けている。平成 27 年を平成 28 年の数値に置き換えるのか、それともこのままなのか。

●事務局 スケジュールについては、1 月には調査結果をまとめて、2 月に市議会に議案を上程するので、それまでには調査結果の数値を確定する。

平成 27 年と 28 年の数値については、今回は仮で 27 年と記載しており、本計画の最終版には 28 年、29 年、30 年という形とする。なお、指標の数値については議決の対象になっていない。

●委員 前回の審議会で、コミュニティ事業団と同様に中間支援組織も、25 ページの「地域福祉」の社会福祉協議会の概要の中に含めるような文言整理をお願いした。そこで、25 ページの施策①「地域福祉の担い手の育成と活躍の促進」を見ると、「民生委員児童委員の活動支援を図るとともに、中間支援組織である（福）草津市社会福祉協議会と連携し、福祉講座・懇談会・各種ボランティアや市民コーディネーターの養成講座を実施し、地域での活躍を促進します。」という文言となっている。コミュニティ事業団は「公益」となっているので、それに合わせて「（社福）草津市社会福祉協議会と連携し、福祉講座・懇談会等を実施し、ボランティア活動と地域福祉の担い手を育成するとともに、各地域の特徴を生か

した活躍の場づくりを促進します」という文言にすれば、読み取りやすくなるのではないか。

また、施策②「地域福祉を支えるネットワークづくり」を見ると、「各学区の社会福祉協議会およびまちづくり協議会、各町内会の活動等を軸に、災害時要援護者の避難支援体制の充実等、『地域力』を生かした地域福祉を推進します」となっている。これを「各学区社会福祉協議会およびまちづくり協議会、町内会の活動を中心に、暮らしの問題を解決する住民主体の活動を広げ、地域で支えるネットワークづくりを推進します」とすれば、分かりやすくなるのではないか。

加えて、15 ページの「市民文化」の施策②「文化・芸術活動の推進」の概要には「場を提供することで、一層の文化・芸術活動の振興を図ります」と書かれている。しかし、やはり文化振興は行政だけの問題ではなく、市民と市民からの提供も必要だと考えられるので、そういう言葉をどこかに入れてほしい。

また、5 ページの右側の図に、草津市、中間支援組織、市民という言葉があるが、中間支援組織は現在二つあり、※印で市社協とコミュニティ事業団を付け加えると、現状ではどんな中間支援組織があるのかが伝わるのではないか。

●会長 例えば「民生委員児童委員の活動支援」や「災害時要援護者の避難支援体制の充実」も文言に含める方がよいと思うので、御意見を踏まえて事務局で調整いただきたい。

●事務局 「市民文化」について、一方向の表現になっているということで、市民からの情報や提供、連携といったニュアンスを含めるよう、文言をもう一度整理させていただきたい。具体的事例を含めるかどうかは、事務局と肥塚会長とで御相談させていただく。

なお、市民の役割については、16 ページの「行動の指針」で行政、市民・地域、事業者等それぞれの役割を記載している。

●会長 16 ページに記載はあるので、検討はさせていただくが、できれば 16 ページの記載で読み取っていただければありがたい。

●委員 15 ページの「“ふるさと草津の心”の醸成」について、まちに対するシビック・プライドの醸成が「文化・芸術の振興」に挙げられている。また、最後の全体の構想でも「文化・芸術の振興」に「“ふるさと草津の心（シビック・プライド）”の醸成」と挙げられている。2 ページの「第3期基本計画について」の(1)の3行目から、シビック・プライドを生み出すことについて、「文化・教育・環境・経済等あらゆる分野で」や、「市民の皆様が生き生きと輝き、安心して暮らすことができる」というように、すべての計画を総合したもののがうまく推進され実現することによってシビック・プライドが生み出されていくというように読み取った。そうすると、文化に対して誇りを持つことでシビック・プライドを醸成するでは、シビック・プライドが少し小さくなるのではないか。

また、17 ページの「子ども・子育て」について、「現況と課題」に、「子育ての悩みがある家庭や、ひとり親家庭……増加しています。また、放課後児童の居場所づくりに取り組んでいます」との記載がある。「また」という接続詞では、「増加している」という現況か

ら、「取り組んでいます」には結びつきにくいのではないか。「放課後児童の居場所づくりが十分ではない」や「まだ若干足りない」などにしてはどうか。

また、「現況と課題」の「少子化や小世帯化」に対して、「切れ目のない子育て支援」として、施策の概要に「子育て相談センターにおいて、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない相談支援をワンストップで行う」と書かれているので、妊娠から子育て中に困ったことがあれば総合相談窓口で連絡できる環境を作ればよいと読み取れたが、「子育ての悩みがある家庭や」の部分では、「安心して子育てができる環境づくり」として、「家庭等への相談・支援を充実させるほか」との記載があり、虐待防止においては妊娠から継続して子育て期間中に相談ができる環境があればよいと考えられる。そのため、ここには「児童虐待相談も増加しています」を入れるよりも、「少子化や小世帯化……」のなかに「児童虐待等の相談が増加している」を入れて、そこで「総合相談窓口の充実」とする方が分かりやすい。

●事務局 15 ページについては、まず「市民文化」で醸成させ、その施策を展開することでさまざまな事業や効果が出てくるので、その効果が 2 ページのような形で生み出されていくという流れを想定している。

●会長 15 ページの説明としてはその通りだが、全体でシビック・プライドがどう生み出していくことが市民に求められているかについて、「市民文化」の部分で説明してしまうと、シビック・プライドが小さくなるのではないかというのが先程の指摘である。

●事務局 総合計画全体で事業を推進することで、最終的にはシビック・プライドが生み出されていくという形で整理しているの、2 ページでは中長期の展望で進めていく中に大きな視点で入れている。

●会長 2 ページでは一文で書き切っているが、一文で書いてしまうのはかなり無理があるのではないか。この部分については工夫してもらいたい。

また、17 ページについて、「また、放課後児童の居場所づくり……」は現況で取り組んでいるということだが、もし不足しているならば、その点についても記載する方がよいのではないか。ただし、「子育ての悩みがある家庭や、ひとり親家庭、経済的困窮の家庭」文脈との関係でいうと、こちらに記載する方がよい。「放課後児童の居場所づくり」は、さらに必要であればそのように記載していただく方がよい。

●事務局 17 ページの「現況と課題」の一番下の枠は、整理としては○が現況、●が課題としているので、○を現況として「放課後児童の居場所づくりに取り組んでいます」、●の課題として、取り組んではいるが、まだ不十分なので、「児童育成クラブの整備と多様なニーズへのさらなる対応が求められています」という整理をしている。ニーズが高まっている現況なので、その修正も必要だと考えている。

●委員 ※印の説明について、18 ページに「健康推進委員」と出ているが、誰が何をして

いるのかというのがわからない方もおられると考えられるので、※印の注釈で、こういうボランティア活動をしているメンバーであると入れていただきたい。

●委員 「この分野の計画」という項目が各分野にあるが、15 ページの分野「市民文化」について、前回の資料から消えているものがある。「史跡草津宿本陣保存管理計画」は一本にまとめられたと考えられるが、「草津市文化芸術機能等施設整備基本計画」や「草津市文化振興計画」が消えてしまっている。

●事務局 「この分野の計画」で整理しているものは平成 29 年度から実施する計画であり、平成 28 年度中に策定されたものや策定予定のものを載せている。それ以降のものや 2 期計画、1 期計画等で挙がっていないものは省略させていただいた。

●委員 51 ページの「商工観光」の「この分野の計画」に「草津市工業振興計画」があり、右側の施策②「企業の誘致と集積促進」と③「新産業の創出」について、企業誘致と新産業を創出するための場所づくりとなると、スペースの問題が出てくる。例えば、工業団地のようなエリアは草津市にはないのではないかと、研究機関も駅前に一部あるが、ほぼ満杯になっていると聞いている。場所づくりについて新しい取り組みがあればこのような表現でもよい。

●事務局 団地計画という部分については、都市計画、農業振興、商工観光などトータルで考える必要がある。現在検討段階でもあるので、今一度検討させていただきたい。

●委員 17 ページに「児童虐待の防止と早期発見・早期対応」を踏まえると、18 ページの「行動の指針」に乳児家庭訪問事業や養育家庭支援事業を入れる必要がある。

●事務局 児童虐待の養育児童家庭訪問等については、19 ページの「安心して子育てができる環境づくり」の①「児童虐待の防止と早期発見・早期対応」でも、家児童相談指導事業と養育支援ヘルパー派遣事業を挙げている。

●委員 行動の指針にも入れたほうがいいのではないかと。

●会長 主要な事業の中に記載されているので、行動の指針にも記載する必要があるかどうか、事務局で御判断いただきたい。

●会長 最初に申しあげたように、これをもちまして第 5 次草津市総合計画第 3 期基本計画（案）を私のほうから 11 月 16 日に市長に答申させていただく。ただ、御意見をいただいて文言上の修正が必要な箇所がいくつかあることから、それについては審議会としては会長である私に一任いただきたいが、それでよろしいかと。

——（委員一同了承）——

●審議会終了にあたって（小林副会長）

委員の方におかれまして、御多忙の中、第4回審議会において熱心な御審議をいただきまして誠にありがとうございます。ただ今会長がおっしゃられましたように、この答申案を市長に提出いたします。今回の計画の審議の間、皆さん、本当にありがとうございました。今後とも草津市の発展のためにいろいろ御尽力を賜りますよう心よりお願いをいたしまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### 3. 閉会

---

●事務局 11月16日水曜日に市長答申、12月7日から1か月間パブリック・コメントを実施予定である。また、12月17日土曜日に人権センター、18日日曜日に市役所、22日木曜日に南草津駅前の市民交流プラザにて、市長と市民が意見交換するためのタウンミーティングを実施予定である。最終的には3月の議会で議決をいただき、3月末には冊子として計画書を作成予定である。冊子完成段階で委員の皆様へ配布する。

●閉会にあたって（善利副市長）

総合計画審議会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。委員の皆様におかれましては、御多用の中、御出席を賜り、慎重なる御審議をいただき、誠にありがとうございました。

また、肥塚会長、小林副会長におかれましては、審議会の運営に格別の御尽力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

さて、御案内のとおり、第5次草津市総合計画は、市政各般にわたる政策、施策を定めた市の最上位の計画であり、今回お願いをしております第3期の基本計画は、構想期間をしめくくる大変重要な計画でございます。本年7月7日に諮問させていただいて以来、約4か月間という非常に短い期間ではございましたが、それぞれのお立場から、慎重、かつ内容の濃い御議論を重ねていただき、本日集約いただいたところでございます。

その結果、第5次総合計画において、「出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち草津」とした将来像の実現に向けたまちづくりの指針となる第3期基本計画案を総仕上げの期にふさわしくまとめあげていただき、大変喜んでいただいております。

私自身も、地方自治体の地域経営を担う者の一人として、厳しい財政状況の中ではありますが、よりよい市民サービスの提供を行うべく、委員の皆様の御尽力に基づき取りまとめいただきました第3期基本計画案に沿って、また、御審議の過程で頂戴いたしました、さまざまな御意見も参考にさせていただきながら、今後の市政運営に取り組んでいきたいと考えております。

結びにあたりまして、改めて熱心な御審議に感謝とお礼を申し上げますとともに、引き続き草津市政に御支援、御協力を賜りますとともに、委員の皆様方の今後ますますの御活躍を御祈念申し上げまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。皆様方には大変お世話になりました本当にありがとうございました。